

★法学研究科では、一部GPA基準を設けない選考区分も設置されています。
詳しくは、法学研究科へお問い合わせください。

法学研究科

出願要件 : GPA基準あり★
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月11日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4145
law_grad@mics.meiji.ac.jp

商学研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年7月15日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4704
shoken@mics.meiji.ac.jp

国際日本学研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月27日
お問合せ : 中野教務事務局
03-5343-8039
ggjs@mics.meiji.ac.jp

政治経済学研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月13日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4150
seikeiken@mics.meiji.ac.jp

2025年7月/9月実施

明治大学大学院

文系研究科博士前期課程

「学内選考」入学試験

教養デザイン研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月18日
お問合せ : 大学院事務局 (和泉)
03-5300-1529
humanity@mics.meiji.ac.jp

経営学研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月17日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4705
keiei_grad@mics.meiji.ac.jp

情報コミュニケーション研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年9月9日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4285
jokomiken@mics.meiji.ac.jp

文学研究科

出願要件 : GPA基準あり
対象学部 : 全学部
選考方法 : 面接試問
入学試験日 : 2025年7月5日
お問合せ : 大学院事務局
03-3296-4143
bunken@mics.meiji.ac.jp

※文学研究科を除く7研究科は、2026年2月にも「学内選考」入試を実施予定です。

◆出願期間

商学研究科	2025年5月21日（水）～5月28日（水）
文学研究科	2025年6月6日（金）～6月13日（金）
法学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、 情報コミュニケーション研究科、教養デザイン研究科、 国際日本学研究科	2025年7月4日（金）～7月9日（水）

進学の相談・入学試験の詳細は各研究科へお問い合わせください。

「学内選考」入試とは

- ・明治大学生のみを対象とした制度です。
- ・現在の学部とは異なる分野の研究科にも出願できます。
- ・研究科により、学内選考入試出願前に希望指導教員の承認が必要になります。
- ・主に面接試問により選考を行います（一部研究科を除く）。

※出願要件を満たさない方は、一般入学試験・外国人留学生入学試験もご検討ください。



明治大学大学院の魅力をまとめた特設サイトを公開中です。在学生・修了生・教員のインタビューも掲載していますので、是非ご覧ください。

充実した少人数教育

きめ細かい教育研究指導・教育体制を通じて、研究者と高度専門職業人の双方を育成しています。

＜博士前期課程・修士課程＞
大学院担当専任教員1人あたりの学生数

文系研究科平均^{*1} 約 **1.3** 人

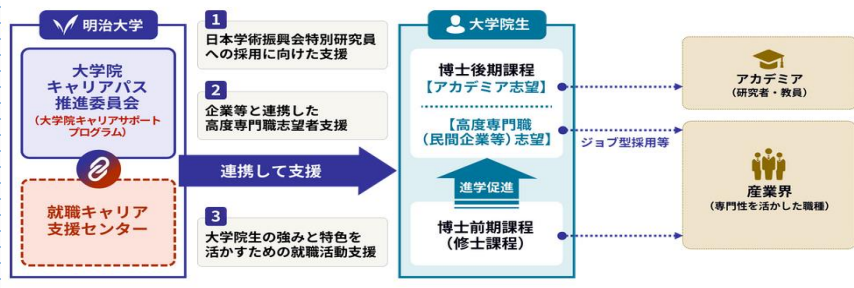
理系研究科平均^{*2} 約 **4.1** 人



^{*1} 法学研究科、商学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、文学研究科、情報コミュニケーション研究科、教養デザイン研究科、国際日本学研究科の平均（2022年5月1日現在）

^{*2} 理工学研究科、農学研究科、先端数理科学研究科の平均（2022年5月1日現在）

大学院生に特化したキャリアサポートプログラム



「アカデミア志望者への支援」「民間企業における就職活動への支援」の双方を行い、大学院生に必要な支援に重点を置き実施しています。



豊富な独自奨学金・充実の研究助成

明治大学独自の奨学金採用者数^{*1}（受給率^{*2}）

博士前期課程/修士課程

495名（約 **33%**）

博士後期課程

149名（約 **83%**）



^{*1} 2021年度実績。大学院研究奨励奨学金A・B、特定研究者育成奨学金、私費外国人留学生奨学金、私費外国人留学生授業料補助の実受給者数計。

^{*2} 2021年度5月1日時点で、標準修業年限内にある学生のうち、明治大学独自の奨学金受給者が占める比率。

大学院生が研究活動に存分に打ち込むことができるよう、後押ししています。



在学生インタビュー

羽部 ひかり さん
商学研究科 博士前期課程
明治大学 商学部 卒業



—大学院に進学したきっかけや理由を教えてください。また、大学院進学にあたり、明治大学大学院を選んだ理由を教えてください。

学部での授業を通して経済学への興味を強めたこと、また所属していた総合学際演習のゼミで研究の面白さを知り、もっと学びたいと思ったことが大学院進学を考えたきっかけです。進学にあたり不安に思っていたことは、入試準備です。いつまでに何を必要があるのか、面接はどんな感じなのか、分からないことだらけでした。周りに進学希望の人がおらず、大学院生とのつながりもなかったのに誰に聞けばよいのか分からず、困っていました。そんな時に、大学院進学相談会があるということを知り、そこで実際に商研の院生さんに入試に関する疑問や心配事、大学院での生活についてなどを質問できたことで、不安を解消できました。

—ご自身の関心や研究テーマについて教えてください。

大学進学行動の規定要因に関心を持っています。私は東京で生まれ育ち、高校を卒業したら大学に進学するのが当たり前だと思っていました。しかし、地方出身の方との会話の中で、大学進学が必ずしも全員にとって当たり前の道ではないことを知りました。実際、都道府県別の大学進学率のデータを見ると、県ごとに予想以上の差があることに気づきました。地域ごとの進学率の差は一体どこから生まれるのか、その背景に興味を持ったことがきっかけです。

—大学院に進学してよかったこと、大学院に進学して身に付いた能力等について教えてください。

大学院で得たものはいくつもありますが、一番大きいのは分からないこと、すぐには理解できないことにも粘り強く向き合う力が身についたことです。学びの過程で、一見して「全く意味が分からないし理解できるような気もしない！」と思うようなことに直面することも少なくないです。ですが、その分野に関連する本を何冊も読んだり、分からないなりに自分の頭で考えたりと格闘するうちに少しずつ分かるようになっていきました。この経験を通じて、分からないことと向き合う過程そのものが成長につながると気づきましたし、粘り強さや忍耐力が鍛えられたと思います。